

ピメトロジン水和剤 チェス顆粒水和剤	取扱メーカー： シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ
成分： ピメトロジン〔ピリジンアゾメチン系〕……………50.0%	性状： 淡褐色水和性細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 汁を吸わず餓死させる，ユニークな吸汁阻害作用を示す。
- 果菜類を加害するコナジラミ類・アブラムシ類に高い殺虫効果を示す。
- ハチ・天敵への影響が少なく，安心して使用できる。
- 浸透移行性が高く，作物のすみずみまでいきわたり，新葉や下葉の虫も確実に防除できる。
- 粉立ちがなく，計量しやすい顆粒水和剤なので，扱いやすい。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 野菜のコナジラミ類に使用する場合は，成虫の少ない発生初期に使用する。
- 主に成虫に対して効果を示す。直接的な殺虫性により成虫の密度を下げるだけでなく，成虫の産卵を著しく抑制する。また，ふ化してくる幼虫を防除するため，コナジラミの密度を徐々に下げていく。

- ばれいしょに対して希釈倍数1000倍で散布する場合は，少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置を使用する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- きくでは品種・栽培条件によって薬害を生じるおそれがあるので，あらかじめ安全性を確かめてから使用する。
- 共通注意事項8．適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ビメトロジンを含む 農薬の総使用回数		
もも なし うめ	アブラムシ類	5000 倍	200～ 700 ℓ	14日前まで	2 回以内	散布	2 回以内		
				21 日前まで					
ばれいしょ		1000 倍	100～ 300 ℓ	14日前まで	3 回以内		3 回以内		
				25 ℓ					
メ ロ ン		5000 倍	100～ 300 ℓ	3 日前まで	4 回以内		4 回以内		
								5 回以内 (育苗期の株元散布は 1 回以内, 散布は 4 回以内)	
す い か		6000 倍			3 回以内		3 回以内		
							3 回以内 (定植時の株元散布は 1 回以内, 散布は 2 回以内)		
ズッキーニ		5000 倍		前日まで	2 回以内				
				収穫開始 3 日前まで	3 回以内		3 回以内		
にかうり					2 回以内		2 回以内		
う り 類 (漬物用)									
ト マ ト ミニトマト きゅうり	コナジラミ類			前日まで	3 回以内		4 回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の植穴 処理は合計 1 回以 内, 散布は 3 回以内)		
ピーマン とうがらし類	アブラムシ類						4 回以内 (育苗期の株元散布 は 1 回以内, 散布は 3 回以内)		
な す い ち ご	アブラムシ類 コナジラミ類								
みょうが (花穂)	アブラムシ類				散布, 但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する	3 回以内			
花き類・ 観葉植物	アブラムシ類 コナジラミ類			発生初期	4 回以内	散布	4 回以内		